

CML マイクロサーキット社（以下、CML 社）は集積回路におけるデザイン/製造/流通に長年携わり、標準品/カスタム品共に多くのデザイン経験を有し、ミックスド・シグナル、RF、アナログ、デジタル、メモリ、および DSP デザインを含む革新的なソリューションを積極的に提供しています。

今回、ユーザー様へリリースされたばかりの CML 社最新製品をご案内させていただきます。

CML 社最新製品ニュース:

RF Building Block – IF/RF Quadrature Demodulator IC

CMX970 は、対応周波数範囲：20M~250MHz にて低消費電力かつ高性能な IF/RF 直交復調 IC です。ワイヤレスデータ、アナログ・デジタル PMR/LMR 無線機器での高度な要求仕様を満たすよう設計された本 IC は、低消費電力の IF/RF 直交復調を実現するため、スーパーヘテロダイン受信技術を採用しています。また差動による受信出力は CML 社の CMX7163/CMX7164 等のモデム IC や CMX910/CMX981 等のベースバンドプロセッサ IC との直結に理想的な組合せとなります。

CMX970 RF Building Block:

- 優れた位相/振幅バランス
- I/Q 帯域幅：> 10MHz
- 低電圧動作：3.0V to 3.6V
- 小型設計：16-pin VQFN package (4mm 角)
- 高機能かつ自由度の高い設計



詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認くださいませ：[Click Here](#).

FirmCODEC® – Full Featured Analogue Front End for DSP/Microcontroller Based Systems

CMX7861 FirmCODEC® は、DSP/MPU/FPGA ベースの無線機器に対し、アナログの前段処理全てを担います。本 IC に組み込まれる信号処理機能や補助機能により実現されるコーデック処理によって、アナログ処理部とデジタル処理部のシンプルな接続が可能となり、無線機器の性能改善やコスト/開発期間の短縮に寄与します。また本 IC は CML 社独自技術: FirmCODEC® を採用しており、Function Image™ と呼ぶデータファイルを書換える事によって、将来的に同じ IC 上で複数の機能に対応することも可能です。

CMX7861 Analogue Front End:

- I/Q インタフェイス
- 各種規格との互換性 (ETSI, FCC part 90, ARIB)
- デュアルチャンネルコーデック
- 完成されたプログラマブルデジタルフィルタ x 2



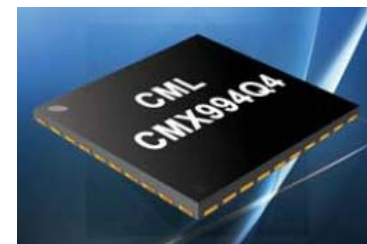
詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認くださいませ：[Click Here](#).

CMX994 Direct Conversion Receiver

CMX994 は、音声/データ無線における次世代のマルチモードソフトウェア無線 (SDR) をターゲットにしています。本 IC はゼロ IF/低 IF を採用する無線機器に対し、最小限の外部部品と共に RF 受信回路を構成する事で小型化を実現し、無線機器の基板集積化に寄与します。今まで、多くの無線機器でスーパーヘテロダイン受信技術が採用されておりましたが、半導体技術の向上によりダイレクトコンバージョン受信機の IC 化が実現され、多くの無線機器で受信技術の採用選択肢として検討いただけるようになりました。

CMX994 Direct Conversion Receiver IC (DCRx):

- RF 受信機能の高い集積化
- 対応周波数範囲：50MHz~940MHz
- アナログ/デジタルモードおよび SDR 無線のマルチバンド/マルチチャンネル無線機器に最適



詳細製品情報は CML 社 Web サイトの専用ページよりご確認くださいませ：[Click Here](#).

Search for 'CMLMicro' or visit www.cmlmicro.com and discover more product and industry news.